

## ■ 農作物の生育状況と今後の対策等（5月）

令和6年5月16日  
三八地域県民局地域農林水産部  
農業普及振興室

### I 土地利用型作物

#### 1 水稲

##### (1) 生育の状況

管内のは種最盛期は平年並の4月16日であった。

管内の田植え始めは平年5月16日となっているが、本年は5月10日現在田植え始めに至っていない。なお、管内の田植え最盛期は平年5月22日となっている。

##### (2) 今後の対策・指導等

適期に田植えを行う。

適期に除草剤を散布する。

気温に合った水管理を行う。

#### 2 小麦

##### (1) 生育の状況

5月10日の調査では、草丈は64cmで平年より高く、 $m^2$ 当たり茎数は591本で平年より40本多かった。

年次	播種日	草丈(cm)	茎数(本/ $m^2$ )	出穂期
本年	10月13日	64	591	5月 日
平年	9月27日	56	551	5月18日
前年	10月2日	56	453	5月14日

##### (2) 今後の対策・指導等

開花始め～開花期と、その1週間後の2回赤かび病防除を行う。

## Ⅱ 野菜

### 1 ながいも

#### (1) 生育の状況

春掘り作業は、若干残っているが、5月15日頃で概ね終了と見込まれる。  
トレンチャー耕、土壌消毒等作業が順次進められている。

#### (2) 今後の対策・指導等

植え溝に土壌水分が十分ある時に植え付ける。

### 2 ねぎ

#### (1) 生育の状況

7月上旬出荷の作型では例年より定植が15日程度遅れたものの、その後の定植作業は順調に行われ、生育はおおむね順調である。

#### (2) 今後の対策・指導等

病害虫の適期防除を行う。

定植作業は畝の崩れ防止と活着促進のため土壌水分のある時に行う。

ほ場の乾燥が強い場合は、かん水するか葉面散布剤を活用する。

### 3 にんにく

#### (1) 生育の状況

草丈・生葉数は直近10か年の平均を上回っている。

また、葉先枯れが目立つほ場が見られる。

病害虫では、春腐病やさび病、黄斑病の発生がみられる。ネギコガの被害が一部のほ場でみられている。

りん片分化期後の平均気温を積算した収穫日予測によると、収穫時期は6月10日頃からと想定される。

#### (2) 今後の対策・指導等

病害虫防除は、降雨前の薬剤散布を徹底し、下葉にも十分かかるように丁寧に散布する。

葉先枯れ症状や葉色が淡いほ場では、葉面散布剤を活用して生育の回復を図る。

降雨が少なく乾燥する場合には、かん水を実施する。

とう立ち後は、球の肥大を促すため、早めにとうを摘み取る。  
 種子ほ場を中心に、ウイルス株の抜き取りまたは株元へのマーキングを実施する。

表2 にんにく生育調査結果（5月10日：20株調査）

場所	年次	品種系統	植付日	マルチ	りん片分化期	草丈(cm)	生葉数(枚)	茎径(mm)
五戸 (上兎内)	本年	白玉王	10月3日	グリーン	4月14日	76.1	9.1	19.5
	平年比		—	—	1日早い	105%	105%	97%
	平年		9月29日	—	4月15日	72.6	8.7	20.1
	前年	白玉王	10月1日	グリーン	4月9日	77.6	8.5	21.8
旧倉石 (又重)	本年	在来種	10月2日	グリーン	4月15日	78.1	9.6	17.8
	平年比		—	—	平年並	102%	114%	95%
	平年		9月30日	—	4月15日	76.3	8.4	18.8
	前年	在来種	9月26日	グリーン	4月10日	76.7	8.5	20.2
新郷 (扇ノ沢)	本年	福地ホワイト	10月5日	グリーン無穴	4月15日	74.0	9.1	19.3
	平年比		—	—	2日早い	109%	112%	104%
	平年		10月3日	—	4月17日	67.9	8.1	18.6
	前年	在来種	10月2日	グリーン無穴	4月11日	75.3	8.4	21.1
田子 (日ノ沢)	本年	白玉王	9月30日	グリーン	4月14日	84.6	9.4	20.2
	平年比		—	—	3日早い	120%	113%	110%
	平年		10月6日	—	4月17日	70.7	8.3	18.4
	前年	白玉王	10月2日	グリーン	4月10日	77.1	9.0	20.0

注1) 平年値について

五戸は、R3から調査地点変更

五戸：H26年～R5年までの過去10年間の平均値(参考値)

旧倉石：H26年～R5年までの過去10年間の平均値

新郷：H26年～R5年までの過去10年間の平均値

田子：H26年～R5年までの過去10年間の平均値(黒マルチのR2を除く)

表3 にんにく病害虫等調査結果（5月10日：100株調査）

場所	春腐病	さび病	欠株	二本立ち
五戸	0%	0%	1%	0%
旧倉石	0%	0%	1%	5%
新郷	0%	0%	0%	0%
田子	0%	0%	0%	0%

※調査区外に春腐病及び黄斑病の発生あり(旧倉石、新郷、田子)。

表4 にんにく収穫日予測

アメダス 地点	りん片 分化期	りん片分化期後の平均気温の積算(°C)			
		800°C到達	900°C到達	1000°C到達	1200°C到達
八戸	4月14日	6月10日	6月16日	6月22日	7月3日
三戸		6月7日	6月13日	6月19日	6月29日
注)品種:白玉王		透明マルチ	収穫始め:800°C以上、収穫終わり:1000°C以下		
品種:福地ホワイト		透明・緑マルチ	収穫始め:900°C以上、収穫終わり:1200°C以下		
		黒マルチ	収穫始め:1000°C以上、収穫終わり:1200°C以下		

※4月14日から5月9日まで実測値、5月10日から平年値の積算。

#### 4 いちご

##### (1) 生育の状況

「とちおとめ」は、草高43.7cmであった。チップバーンが見られ、病害虫はオンシツコナジラミが少発生となっている。観測しているハウスでは、現在、開花～収穫中である。

「よつぼし」は、草高38.0cmであった。病害虫はオンシツコナジラミとハダニが少発生となっている。観測しているハウスでは、現在、開花～収穫中である。

表5 生育調査結果（令和6年5月10日現在）

品種名	年度	定植	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)
とちおとめ	本年	8月25日	43.7	32.2	11.8	9.3
	(平年比)	(1日遅い)	(-)	(-)	(-)	(-)
	平年	8月24日	-	-	-	-
よつぼし	前年	8月26日	40.7	32.1	10.4	7.9
	本年	9月5日	38.0	28.5	10.0	8.0
	(平年比)	(5日遅い)	(-)	(-)	(-)	(-)
よつぼし	平年	8月31日	-	-	-	-
	前年	9月3日	37.8	28.1	8.8	7.0

注) 5月調査は令和5年からのため、平年値はありません。

##### (2) 今後の対策・指導等

枯葉・収穫後の果房を摘除する。オンシツコナジラミやハダニ類、アザミウマ類、うどんこ病の防除を徹底する。育苗ほにおける炭疽病の防除を徹底する。

## 5 土壌くん蒸剤「クロルピクリン」の使用について

クロルピクリンの使用に際しては、使用者自身と近隣住民の健康のために、以下の注意事項の遵守を徹底する。

- ・土壌くん蒸剤用防護マスクなどの保護具を身につける。
- ・ガスが近隣の住宅や家畜舎、田畑、井戸、河川に流れ込まないように、風向きに注意する。
- ・周辺住民に事前に使用日時と使用者等の連絡先を、時間的余裕をもって幅広く周知する。
- ・被覆しないと有効成分のガスが抜け、防除効果が落ちる。また、近隣住民や環境に悪影響を与える恐れもあることから、必ず厚さ 0.03mm 以上のシートや難透過性資材で被覆する。

## 6 農作業安全

農業機械の操作を行う際は、周囲の安全確認や、ヘルメット着用などの事故予防対策に留意すること。また、思わぬトラブルが発生した場合には、まずエンジンを停止させること。